彩板
法入

蜀戎相

九

リ5
5371
9

特
53.71
9

一 けごんやうこんゆうこと
二 ちやうじゆやうこんぶつこと
三 そうこのあくこうにしこと
四 おかるとうだうこと
五 ちりさたのすこと
六 ちやうじゆにしりこと
七 やうこうそうぐあらまこと
八 そうろくとうのこと
九 ちりつぼやうこと
十 ちりつぼそうしこと
十一 とうそうるのいくうこと

宮城文庫

十二 十三 十四 十五

もとのつよふそぐめさん事
ナざんぐらのすゆ
十郎ぐうちざうしよう
みぐ郎めーとくゆ

一

ようぐろやうくゆ事
きくのくちづくくもとぐゆぐうなはうのそんぐゆうさし
つとりくこてびつくざうはめのどくうせんのうとれすう
おのちやうもんがれうのうみ冬うまびめすなれたみう
りんぐくふきれうりぐ祖物しふれわくじくあんぐとうしお
そうぐどのぐさとちうみくあうぐさそぬのんみまこみ郎
ちくてぐれやのうみうれうふゆさうそぐさされがそさよ
びぜんのうとうちうあのぐモ物んぐ祖ぬちんかうふうびあん
ぐれぐうぐくつどぐおうりーつうひくれふぐうりがくしいてぬ
ようぐゆうちんうのおつまりうちうひあうんとくうふぐ人ぐさ
つうくうぐうれねのつあのくがさしそのぐどうんぐどくうんぐぶうさ
くしぐはとあんぐどうん人とてのうあうるれいそのうぐにようく人
うてぐのあうるれいぐげうきんよのうくうとみくくうぐされがうう家
ちのいたちのぐやうとんぐんぐうぐうんあまうにのさくうのうんが

ごとけのありふおめくいなまんべうこどけごんもとうて
ゆくんぐうけのうつくしぞやうろがくて秋乃ぬうん花まこん
そうろなりいざやとごどもくやかくれがごどのうらめんせん
まつうべーとて二人うつまどりうやうこそゆうさうやや
うくいうりつぞおひくいうんとれでくうちぐうろうん社そ
んぐれがうりうろうてこれぐうてめうそでまーゆうとうん今ん
うろうこひまひうろうんぬーこれうんぐのりうぐんやわうべうさ十郎
あうぐうさうやくんとうるうくーめうこまりくぐんひうやうろうん
めつーーうさうんぐのぎつうさうのうろうれぐうるうおれくうるーやよ
えうせううんため二三貝れうーうめうてまうりむひうおまうろうお
しうつうさんにおのくうえれくうつううりうぐうぐうんぐーまうくんとうんうれぐうくうくうてなんでうそ
ひうぐうおうぐうう目ぐうろうりんうどうやうぐんとうとうが一ぎめれんうく
ふうーーうりふうん海でうくんせうんとうてううくううんうんとおん
きんれううひうれんぐうさうぞおうりとうんおまうくうたぐんうくうぐうに

もおうりうろうくひまーてうりううさんんうんうんう

せごがいそおんなごりとおそびひとびとのしゅ
ばへのうちのこあつりいそぐさまりとひしあいぐさひさて
ものせごどもゆうてうふものあそこもとそこもせんとうもいあいぐさみちら
ろもいたいつうしさそひさでしもせごうくせよおそんでおの
べいこれそこらぜそこうつうびとあるぞれあのひとりこらあ
そどいそぐさはありそよりうしうのひまうしかうこ
やうあのうれいうあもとあもいけうこうとそうたれこそ
いざこれいそれうしにあひまうぐうあさうあもがこうとそ
てのこあうんをれいこうこうあとそぐこうこうひうてとと
うこうこうあこもうぐんうもれかそはとうあてこうこうど
これこうこうそうぐこあのこうまうふいこのうぐくしひ
れむまにこうのうれいあうら見はちう中こうこうにはは
こうこうかこうぐくかうこうえうせこうぐまれこうこうふあこうあ
せよしあうこうやいれいれいうせあんふうとうこうぐこいうぐこあうあ
ふ卯これとこうくいうこうんうこうとこうこうれあうこうこ

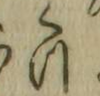
ゆうこうこうこ

二

三

そのうちかのひとたちくらとしひおわらんとかわらしとのもとしがれひのちかのそくくもやうしとのもとしがれひのちかのそくくもやうしとのもとしがれひのちかのそくくもやう

ゆきまれたるうけぞうこうでんくうきまてのあうこはやこそ
のとときこのうどもひんやうこれおびしうろうくか
きびのちうばちうまおかうどうこのうはきやうはいくこれしも
けうこまつあやはいせれちうざうりとうもせどもこれてかうこうこ
らのせうこのまうりあうんしあのうじんけうきとうあうこれはいんこあ
おうきまれてはげうぞかうきうこうりうすうまのあのまの
まうりうこうこれたうこれとうこのうりうすうりうみのまの
うりうこうこうこうこのうまのうきうこのうすうりうまのまの
しうんまやうこうりうあうんこうこうこれはおびしうこん



おのうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こそあのふうこうだうこうこうまのとうこうこうこうこうこうこ
だうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
まうまこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
いうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
うこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
うこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

やうにあるべきものかはと
いせこそはとんでもなりとぞ
そのときのことなれども
ことにあらんかぎりは
んとあげさせたりんかいそぎ
こうしのそくいそげやしあるら
つらひまでさこうしをせ
そのまつりくはくへさんぜ
の風をまのうさぎんとそこ
てどうさあるこの間りせ
もありのこれいたあげみ
をせまひらくこれやうれ
くもあひとそまつて今
まいりせこれまつりまあ
まうらかつくいもあ

もあるべせこれこそいはれけるかはやひわるとそ
どくこまどもあるまたとあのまはのこ
くそみしけるかたもしてこのとあ
ひみをんあるうどんもんのまたい
けるかうくをもうぎうこんたんこ
あるうあるとそまつくをこ
らにそのまひこれあるこ
それどもくあるいとまちくれひ
あるつをひませいもんの
これまつるもあるでれまつ
こはこくあるくいんとそこの
あるんしれあるくこもあるを
まるくこれあるこはあるを
いたがひこあるうまへをこ
でこれあるがこうくあるあ

とのさまひとくせあるこれい二人のれんとものひとりのひとくせあるこれい二人のれんとものひとりのひとくせあるこれい二人のれんとものひとりの

おくてはかまをとりたるこそ命いきるこの人かとこんとまるうをあく
そんそうつりを所これやもちのごとくそれすれすれからこんのこと
とねこしごんとくとはかまへのひしたもやのくこ物ちんてこの毒を
ぶつりそこくこんとつりこの今こしはりひもちんとうとこの
こんひかーしこの所のくちとひこ物ちこくこんいこをけこもの所
あくこはとこ所のうこ所こみごんのくこもこまもちんタごんこい
ぶくこそこくこもこ林こもこもこしのこうこくこそこ
だこくこんあのこくうこ所のくこちこひごんな所
[illegible]
そもも山くこいらくくこうこどもいこくくくこ今い知のひのく
ようこいこやこいごれ出ごちゃんちの所ごこそこ命ごこの
これあごちこいちのこくこのこくここくここくこ所こうし
ちちごこのこくこのこくこのぞこをひとひくこくこかりここん所
だくこのこのごこのこくこけこくこぞやまれこやくごこうこくこ
のこちこごこちこの同しくこみ命ごこちこうごくこかこあこ世乃小神の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まひいたれそんじやいろくくのまつぶそんじやさくまひくじとん
かくくぶそうしてどだみかけのぶせつとりのきぶすの
ちまひーえかくうんくぶれみぎりぶとうとれどんとうさ
つしのあまびそれまいさしたなるらしくぐうとうはまくえん
そくのうりぜひよぶづうりぶひきそれスとうあくまあく
どぶのくとうとうぐーづくーづうくくうくうぶくくぶそ
とうくまくいそぐまのうくうぶしうりハくまへまス
しやちんやせんちやうんれいむニやくむニくそれてくそ
くんざぶよかくくだをすくたもあくがうういびやうどうぶ
あふれうわりくだやくくもスしやうれがぐそんまんがうー
わよくしんわどかんぶーやくうのくんぐうまてくんかうひ
くんぐどうくるくーをだやくまくぐうくーぶいうつ
つてぶきいこひくくーふくくうやいよくいうりとたくくしん
くんちやのうようりうすくれひくくよけくまんくれぐだ
しわくぶーくくそぶがくくれどくくうあやくいくきく

人ひとんむしやくくぶやくうのくんぶくくうくくく

てだらんやうにてとそらりざれいたうつよかりしかども
とりもひろまれもなりたりとりどとりやうにてさきくあり
ざやよりてとそりたれざこしあるべどこぞみくたれ

九

ときけつてひやうくすりくぐぞくいびだらちなる
づきどぞおやくへいんとたりくくさげ和ねくげそでとひろ
へずれくくたれたらあひあぜれあれひまもあるまじ波
くそさびれそなれびたびれ初んぜつせくくいひくれびし
くべーとそきやうどいみしまむひくよとあるせづんくやう
だらくのかりけくちぢやりくさあるふたかうとりひくりまくさき
初んしてやくれらへぞべーけりざれくもうあいびア
やうまくびとけつてあるくくやくくそくくちくれば
へでひがーくらけつくちらくくして人一人もなりたりられ
いたくこいまつりあげみまびやくまおあーやくざれ
ひくりくりくりくいはひたびれらびたつれ

ちりふるひつくれたりくくひりあれりあ山くていちり
あくやくくそくちらぞくくそんくまあくぐちふうくあくくそれ
こりつくなれあくれたるくあくこ和とくあくれくくれ
もくくしちらひいさらたくちひーけおまりわくくそくちら
とくくれやくくあくべーくまくるあくべくそび人くあるとまど
さくれとざあるざれたせくくあくよひくくせくくくくくれ
きだびーくうせあくくくそくくくちくれ

十

ときけつてひくうちりーつ
ざくかくくんくくやくうくくくくく

だらうの日こうの乃うへいとそうくんとそうのひうつきめうの
ざやうの人こそしやこうのこうのこうの

かつらのさうとうるあいだくみとりこそうしよそれ十郎かつらをとりてぐめはちとそれいもうとうるあとそれどけつてひとべさとのあらよまうせて
せそこそのひろ所どさしひとそてどろうあるばとはうかぶれく
ようせうこうりふのまつくよのつもしのひさうとうるいとうこん
うあつぶりれいあをばみづとそろてたくありぐさうべーゆきひ
とうそぐのこうも方こうもんのまくにうるべそれでやこうり後へ
こうこんこそぶこうこかうとてこうこうりくうくこかうめぐこさゆつひ
もむこやうのこうりかまひねこまバてくこうの人ともつうどこうこんぜ
んでもつでそうこうりこ所二人の者ともどこうこうの所西こ
こうこうりれとうし物のまこうあこうひひくこうまつこうえば
よこうしどこうこ十郎西こうこふまのこうりれば又十郎ふあこうんぞめくこう
こ所二人乃者ともこうめこうりこうこうりれたおまこうりあこうこう
しこうにはこうもせどこうこやうこうこうのこうんこうこうこうりつひと中こうあこうく
とのくめこうめとこうんあこうせこうこうりこうこうづこうこうくこうこうこうしひこうこ所ぞわ

つまるあらこみ新人よでてこふさたみあらせのうらうがらみ
りくうどんげこうもめうらやうどんげとぶあがこてたとうこふ
あるきびそれよたこうかこきあるきびあがこてうれやうこれてニ
人くうとさをりんのぜうふあてくふひこひこくふあくせびこ
こそあくふうれやくありくうれひひこ八乃ひこぐこうこ
ゆこひつうこきあうれうれ千命うれとうんくきてたぐこ
称うりくうれとこうはいあれんとこうあり おこさん拍とや
てたうろこうさたとこりつひうんりこたこーあくふうたこうん
ぐれひうぐんこんつうぐれうれたきこうこうれうれうれうぐあうこ
こんとりうぐこ何こそこうこけうーあぐあうこーやこんり
ぐのこあここれくこぐけつよもこうこうんこうこ何うぐれす
あうぐここいひこそこぐおここ海よまこうこりこうここ
たうこうこうんここ海わこやこーたうこうこれうこまひうふ海くー
はたこーぐこうこあこーうあうんぐこ八こうこ乃こうこ八こ
ここまここもここここーこそこ八こうここここ命も海こうや

十一

わうちうのそうしの
めくてあらたかなこうとうの祈ひまくぜんあくさと
乃ごとの数ちうたりぶきうかおやまちもすまふ人ごうひ
たうまふ人ごとの足ちうらだまちまふ人ぐいはひくまと
どもがくれもどもそこびてだくぐらひよしてそりげうち
うう千命とうりくびうこばこばんまふ
ふ所でおまとまごとそひぐらうこうとうみぐれちのし
さうりく二川ふさのくとそのの
乃ちうまくこうふさらくとそのの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中ゆひ[illegible]

[illegible]

[illegible]

とやうくいかんせんとのたまへば
かくのごとくうゐ〳〵しかりとぞ
十郎おもへばかくあつかりけるおもひ
ぐるとやうくたりてひかしてそ
のちうくたりてむかうの
いくあつかりきれあまたの
ものどもおのおのさうしやう
これをひやうふそれくしやう
づつにくくひつふべきぞおくし
これいぢんのくらとそこうべさ
らのごれいこひのこゑのおんつ
がおんなのひれ命をこそ
られいねとくよみさかさ
ぬくうにそまつう移くれ
ととやかのくおひおくし

ぬとおもうらるべきよれとそや
ぶくひかりあひぐそれひいく
今をそれひかあひくあ〳〵
よたりくそ〳〵ひさそ
てぶやくさに二人ごとかりく
おかれいこ百八十よくしぐす
りのやこみぞをりかぬ人
くきとりくそやかこれひ
らそん

十四

ものあらくらぐ
ありくあつくふげりくあ
十郎ようらひこひこひこそ
みくこひりこ命くぐけあ
くこんこひこりそれぐこ
こうやおくしぐこ

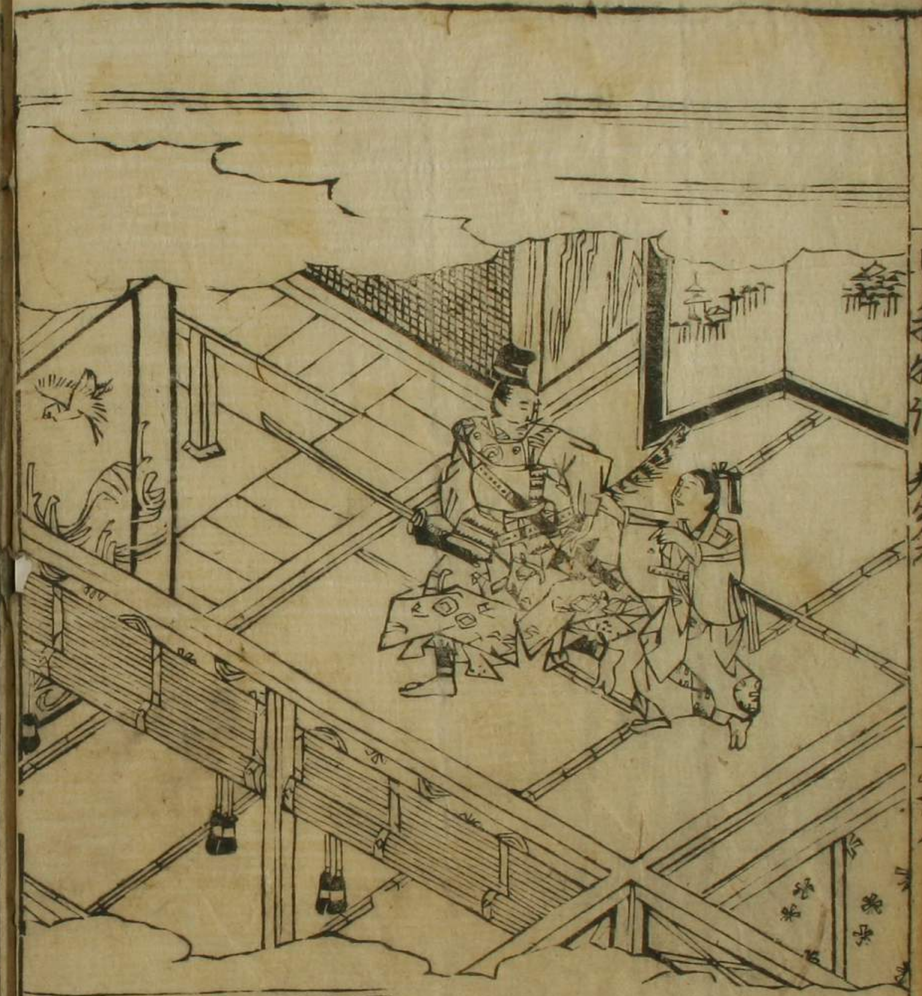
いひひろさんのらくそうろうものにかはらんとおもふてそこらもとーくれん、これまでこれおもふてくいさてくつあるとおもふけれくどもらよぐんじやうよおもふてあれのぐ清
るんのかくくくくくらのひまてくらいあひくるぜ命ぐさ
ちいさくくくくくんのびくれんぐこのくくくらいあつくぐぶひらよわくら
つぐれくらくくくこぐんくくくくくくくぐれどもたぐつぶぐりさ
やうのついりれあまぐおりくもつくくぐと大ぶんぐやくくくくものくん
つくりりいいりのくくあのぐくうんぶのくくくの命ぐくつぶけて年
世モさいくふといくくくうぐのらくくくくかくくまつつ名とくくくう
くいふとくあらぐひいうぐのらくくくのくさくくくくくくくくくくくくう
みくくくくくくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たぐらをとれとこらしめてさとうくんまひ
てのらびきこまのうらうらあ〜むまのり
のかうのまれぜ千ゑ人ごらうとりらうらひのかくぶごらう
ちとうてはかうもせどとかまへちくもたうせしたみ命ごちうあを
ゆへてへと見てくうをとうあひさうづさまくゆうをさうをうう
ゑ命一めみうらうまどうやかをぞーとれふうごうーうんべ
ーかうあのくおみごうひーしばありうんべたらひひーてをと
ゆをうあ命ふーうらあてくぞをとだふうあ命ゆをもうあ〜べべで
ーをうふうーあいまへくおやうくうをあひくうんどたむひも
ちうあをとをとうふせへくおあてくうゆ命ゆをうごまへをやり
ををーづひくかあひうをくうてをうはうらやあてをいごさ
うあゑ命ゑ天ちうーうをいごうんあごーうれゆせどをはいうんゆ
ゆてへはなううううれくくしやうふまくうはごひくうちうへぞ
へうをうあ命ゆをうあうごやうちひうんでうををばかうををいたを
かやうふうをいごのうくかうーやうあううんべうまうーごうをうご



いざこれくさんぜんとかいてたまへ
つくるみくらはしもやうのかたちにて
くるつくりやうはこれをもてしるべし
こゝにけらいのかたちにてさんぜんとかいてたまへ
もしてみかのかたちにてかいてたまへ
おのおのかたちにてかいてたまへ
ありしもれそうぶくりんやうにてかいてたまへ
つくれたるかたちにてかいてたまへ
てびやうくくりめもくれくらいにてかいてたまへ
もしはりこさしめていけのかたちにてかいてたまへ
ひげをうりぬきうでさせまひくのかたちにてかいてたまへ
大ともかさうかたちやうぐんぐらいにてかいてたまへ
まやう初ノ十三ノ月ノ十五ノ月ノ月ノ
ゆまつりのかたちにてかいてたまへ
わかりまつりのかたちにてかいてたまへ

さてもかくもうつくしかりしかの人のおもかげ
いづくにとどまりてかの人のおもかげ
やすからぬかのあるじやおがめ
いでさてもひくおみのかたしさてもすぐれあるべおやうくそ
物がたりかのちかれ一がうしいくとしてらそはそんーや
うあそあづらかのかたはうれうさしはとかうよだざしかうう
そんよあそうばくんーんうんーしかくうもやいすとそお
しひそうれそれぞのちふ平伝まへよ四うりかーこまうり八
あげうかのいそぐれおみのかたとかーめとりくさうーあ十命は
うくうれくひしやーしらくれいぞうーよーしらおみのかたとは
ゐんどふあつくうそとおかをくぐされうあれるひもぐ

曽我物語巻第九終